平成３０年第１２回定例会会議録要旨

◆開催日時　　平成３０年１２月２６日（水）　　午後２時００分開会

◆開催場所　　国富町農村環境改善センター　Ｃ会議室

◆出席委員　　豊田畩光　　木下正明　　二上由美　　海老原千浩　　山本憲一

◆欠席委員　　なし

◆出席職員（事務局）　　大矢雄二　　松岡徳　　中島達晃　　日髙健一郎　　中武瞳

◆会議録署名委員　　木下正明

◆議　　案　　なし

◆教育長報告要旨（１２月１日～１２月３１日行事実績）

①教育総務課

　　　○１２月７日（金）～１３日（木）町議会第４回定例会

　　　　　１１日・１２日に一般質問が行われ、１３人の議員のうち５人が登壇されました。教育委員会関係の質問として、就学援助費を入学前に支給できないかということと、中学校の部活が成り立たなくなっているので合同チームを編成できないかということが質問されました。最終日には今回出された補正予算について、質疑・討論・採決が行われ、提案したとおり全員賛成ということで可決されました。

②社会教育課

　　　○１２月９日（日）第２４回青少年健全育成町民大会

　　　　　海老原委員にも出席していただきました。小・中・高校代表の最優秀賞の作文発表がありました。その後に本庄高校の活動事例発表がありました。発表を見た方々が、今年の発表は特に感動したと言われるほど、どの発表も素晴らしかったです。海老原委員にあとで感想をお願いしたいと思います。感動的な発表だったと議員さんも口々におっしゃって、県の青少年健全育成県民会議の事務局長も、ぜひ県でも聞かせてもらいたいと言って帰られたぐらいいい内容の会でした。

③学校給食共同調理場

　　　○１２月１９日（水）給食感謝集会（森永小）

　　１月２４日から３０日までが全国学校給食週間ということで、これに合わせて他の学校もそれぞれ給食への感謝集会を計画するという形になるようです。

教育長　　　青少年健全育成町民大会についての感想を海老原委員お願いします。

教育委員　　小学生の部は夢を語るということで、白バイ隊員になりたいという思いをすごく分かりやすく文章にして発表されていました。中学校と高校の部は、人間関係で悩んだという発表で、八代中の子はバレー部でチームをまとめることができなくてという思いだとか、高校生の子は引きこもりになってしまってからの私ということで、相当私も聞き入ってしまい、手元に文章もありましたが、その子達の表情を見ながらずっと聞いていてすごく感動しました。この子達がすごく頑張っているから私も頑張らないといけないという思いで聞かさせていただきました。本庄高校生の事例発表で一番心に残った言葉は、気付きに学ぶ・失敗に学ぶという言葉と、素敵に生きる大人の存在そして出会いという言葉がありましたが、失敗を恐れるより、失敗から学ぶということは自分も頑張れる言葉だなと思いました。また地元への恩返しということで、国富町民として自分たちもしっかりしなくてはならないし、これから子供たちが住みやすいまちをつくっていかなくてはならないなと思いました。童謡祭には、小学校３年生の子供たちと、くにとみ幼稚園の子供たちが一生懸命参加しているのを聞かさせていただき、すごくほんわかした気持ちになりました。今後も続けていただきたいと思いました。以上です。

教育長　　　松岡課長、今聞かれたことをまた皆さんに伝えておいてください。本庄高校が国富町出身の高校生だけではなく、学校をあげて、地元の町のためにこんなアイデアを出したらどうか、こんなまちづくりはどうかという発表だったことで、発表者の担任の先生に役場職員の皆の前で聞かせてくださるとありがたいと話したほど印象的でした。

次に、教育総務課長から今回議決された補正予算について説明をお願いします。

大矢課長　　それでは、町議会第４回定例会で採決されました第５号・第６号補正予算について説明させていただきます。国が先の臨時国会で創設したブロック塀・冷房設備対応臨時交付金制度により本庄小を除く小中６校の普通教室が４８教室、特別教室が３４教室に空調設備を設置するということになりました。事業費が２億８千２８０万円です。また、法に適合しないブロック塀が木脇中を除く小中６校に存在しますが、これも撤去と目隠しフェンスに２千３６６万円の事業費を組んでおります。さらに、先の台風２４号で本庄小南側の急傾斜地に危険防止対策がないことが判明したため危険防止柵の取付け費として２１４万円を計上しております。合計３億円を超えますが、来年度からはいよいよ本庄小の校舎長寿命化改修事業にとりかかります。事業費が６億円かかると見込まれておりまして、財政負担は非常に大きくなりますが教育環境の整備は喫緊の課題であります。今後は現在策定中の学校施設長寿命化計画により老朽化対策を進めていきたいと考えております。以上です。

教育長　　　今説明があったとおり補正予算としては３つです。空調（エアコン）の設置は、最初に普通教室だけ出していたら、その後国が特別教室もいいということで追加することになり、４８教室と３４教室に設置となります。本庄小を除くということは先ほど説明もありましたが、校舎の大型改修があり、そのときに一緒にやるということで今回は入っていません。ブロック塀については木脇中を除く学校ということで、安全確保という部分で工事をする予算がつきました。これからしばらくちょうど大型な改修の時期にきているので教育関係の予算がかなりの割合を占めることになりますが、国の補助も活用しながら進めることになると思います。

◆その他

◇行事予定について　各課行事予定表に基づき説明

◇エアコン設置について（補足説明）

町としては来年の夏までには設置を終わらせたいと考えています。そのためには入札等の事務を早めて他の市町村より先に進める必要があります。都市建設課、財政課と連携しながらできるだけ早い時期に入札の事務を進めるように鋭意進んでいるところであります。

エアコン設置に伴う電気代については、県内の他の市町村の実例を調べたところ、１台あたり年間２０万円程度かかるとのことで、計算してみると小中学校それぞれ１千万円程度金額が上がると試算しています。電気料は１年間の電気使用量の最も高い月の電気料を基礎として支払うことになりますので、エアコンを使用する夏場の時期の数値でずっと支払っていくことになります。計画としては、事務室の方で集中管理ができるように考えております。消し忘れや、暖房を使用しないように、事務室でどの部屋でエアコンを使用しているのかという管理と、一斉にスイッチのオンオフができるようなシステムを取り付けてもらうようにしています。

◇教職員の自己評価について

保育園では年に２回、保育園の方針や保育園全体の指針なりについて勉強し、理解し実践しているかを問う自己評価があります。それに合わせて年度末には面談もありますが、学校にもそういう自己評価がありますか。

教職員には年１回の教職員評価制度が義務化されています。１つが職務行動評価ということで、一般教員は、授業力はどうかとか、児童生徒理解に努めているかだとか、それからもちろんコンプライアンス遵守はどうかとか、かなり細かい数のものを一つずつまず自分で評価をし、それを教頭先生が一次評価、次は校長先生の二次評価となり、最終的にこの項目に対してはＡ、Ｂ、Ｃのいずれかといった評価がつけられます。もう１つは、役割達成度評価ということで学校の経営方針に基づき、自分としてはどういった内容をどこまで本年度に取組みをしているかということについて、自己評価を行い、それに関して教頭先生、校長先生の評価を受けるという形で行われています。この評価は、県まで提出します。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（閉会午後１４時４５分）